

平成 26 年度 第 5 回

中央市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 平成 26 年 9 月 24 日 午前 9 時 30 分から

場所 センターちくさ 3 階中ホール

第5回（定例）宍粟市教育委員会会議録

1 開会・閉会の年月日時及び場所

平成26年9月24日（水） 午前9時30分 ～ 午前10時27分

兵庫県宍粟市千種町千草160番地

センターちくさ 3階中ホール

2 会議に出席した者の職氏名

教育委員

杉本健三	委員長	金本一二	委員
弓削ルリコ	委員	田中真人	委員
西岡章寿	委員(教育長)		

事務局

岡崎悦也	教育部長	榎谷米男	教育部次長
澤田志保	教育総務課長	志水良和	学校教育課長
田村純司	こども未来課長	田路正幸	社会教育課長
清水敬司	山崎給食センター所長	橋本 徹	教育総務課副課長

3 開会

杉本委員長が開会した。

4 会議の成立宣言

出席者数5名となり、杉本委員長が会議の成立を宣言した。

5 会議録署名委員の指名

(1) 署名委員は、杉本委員長の指名により、次のとおり決定された。

金本委員

6 前回会議録の承認

第4回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の定例教育委員会における協議事項、報告事項の会議録について、澤田教育総務課長が説明し、承認された。

7 教育長報告

次の3点について西岡教育長が報告した。

学校規模適正化・幼保一元化等推進状況について

9月14日（日）市内各中学校、9月21日（日）市内各小学校の運動会・体育祭が盛大に開催された。最後の運動会・体育祭となる組合立三土中学校、道谷小学校、野原小学校、波賀小学校の4校でも、卒業生や保護者・地域の皆様などたくさんの方々に参加いただき盛大に開催された。

千種中学校区（幼保一元化）について、千種認定こども園並びに図書館の建設工事について、8月27日文書通知にて入札結果をお知らせした。現在、原因や今後の対応について検討しているがその方法が決定次第、お知らせする。こども園・図書館の造成工事は8月末をもって工事完了している。

波賀中学校区（学校規模適正化）については、校章、校歌、特色ある取組みなどについて、10月3日に地区協議会を開催する予定である。

一宮北中学校区（学校規模適正化）については、9月1日の地区協議会において、実施時期を平成28年4月とし、実施場所については一宮北中学校敷地内で小中併設とし、実施方法については小中校舎入替使用、特別教室や運動場、体育館は共用することで、小中連携モデル校として位置づけ、小中連携の一層の推進を図ることで決定された。

一宮南中学校区・一宮北中学校区（幼保一元化）については、8月27日、センターいちのみや、同29日、センター三方で就学前の保護者並びに地域住民へ幼保一元化推進計画についての説明と意見交換会を開催した。

三土中学校の閉校については、5月23日、三土中事務組合議会で学校設置条例の廃止条例が可決され、その後、宍粟市、佐用町の両議会の6月定例会で、平成27年3月31日をもって事務組合の解散と解散に伴う財産処分について可決された。また、閉校記念事業実行委員会については、6月に第2回実行委員会を開催され、以降も平成27年3月22日（日）の閉校式に向けて事業部会と記念誌部会を中心に準備を進めていただいている。また、9月14日に三土中学校として最後となった体育祭について、29人の全校生徒のほか、卒業生の皆様や、保護者、地域の皆様など多数駆けつけていただき、盛大に開催された。

いじめ防止基本方針について

「宍粟市いじめ防止基本方針」の策定に係るパブリックコメントを9月19日から10月20日までの1ヶ月間募集している。全小学校中学校保護者にパブリックコメント応募のお願いもしており、家庭の役割や地域社会に期待することなどを盛り込み、「市民総がかり」で取り組むための方針とすることで進めている。

その他の事業について

スクイム市派遣団については、引率3名、団員10名、計13名で、9月18日（木）に出発式を市役所庁舎で行った。10名には三土中学校からも1名参加している。9月26日までの9日間、ホームステイや学校訪問によって交流を図り、国際理解を深めていく。

以上、報告とする。

9 報告事項

(1) 学校規模適正化・幼保一元化等推進の状況について

資料1「学校規模適正化・幼保一元化推進の状況」により、教育総務課 澤田課長が報告した。

(2) 千種認定こども園・図書館建設工事の入札結果等について

資料2「千種認定こども園・図書館の建設工事の入札結果について」により、こども未来課 田村課長が報告した。

(3) しーたんチャレンジ（体カテスト）第1回結果と今後の取組について

資料3「しーたんチャレンジ事業計画書」により、学校教育課 志水課長が報告した。

(4) 宍粟市指定文化財の現状変更等について

資料4「宍粟市指定文化財現状変更等許可申請書」「宍粟市指定文化財現状変更等許可書」「宍粟市指定有形文化財現状変更等許可申請書」「宍粟市指定文化財現状変更等許可書」「特別展 播磨と本願寺」により、社会教育課 田路課長が報告した。

(5) 千種B&G海洋センター施設解体工事の開札結果について

資料5「千種B&G海洋センター施設解体工事概要」により、社会教育課 田路課長が報告した。

(6) その他について

資料6「平成26年度スクイム市派遣団行程表」により、学校教育課 志水課長が報告した。

学校給食費の改定に向けた取組について、学校給食センター 清水所長が報告した。

25年7月8月期たたらの里学習館入り込み者数、26年7月8月期たたらの里学習館入り込み者数について、社会教育課 田路課長が報告した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(田中委員)

一宮北中学校区学校規模適正化の取組において、配置計画図も出来ているが、来年度1年間で、校舎等が出来上がり、28年4月1日の開校に間に合うのか教えてほしい。

(教育総務課長)

今年度中に設計を行い、27年6月の市議会で契約議案を提案し審議いただく予定で、6月議会通過後の工事開始予定であるが、中学校校舎として整備する計画であり、教室数などの規模から27年度末工期で完了すると判断している。

(委員長)

今朝の新聞報道で、小野市における小中一貫教育の取組の掲載があった。小野市では市立河合小学校舎と河合中学校舎が互いに600m離れているが、6年生が中学校舎で学ぶという取組で、思い切った全国的にも珍しい取組である。一宮北中学校区の取組は、一宮北中学校の敷地内に小学校が発足するという点では、小中一貫教育をすすめるうえで、外部的な要因としても良いスタイルで進みつつあると思う。今後、その教育内容については、全国的な小中一貫の取組を研究しながら、良い取組が出来るようにと強く思う。

小中学校のスポーツの面での交流を考えるうえで、プレイグラウンドを作るのも良い事だとは

思うが、小中学校で、何か一緒に出来る仕組みも考えてほしい。小学生が、放課後や昼休みにソフトボールで遊ぶのには、グラウンド敷地も相当のものが必要である。小学生用のプレイグラウンドを遊び場として小さく限定するのではなく、出来れば小学生も中学生と一緒に伸び伸びと活動出来ればと思う。部活動、クラブ活動のあり方は、小中学校では学校教育法上の位置づけは違うだろうが、遊び、行事、学習のことなども含め小中一環の取組をすすめるうえで、膨大な計画が必要だと思うので、何らかの組織を立ち上げて取り組んでほしい。そして、このモデルが市内の他の小中学校に広げていける部分があるかどうか、検討いただきたい。

(教育長)

先進校の例もあるので、それを参考にしながら一宮北中学校区独自のものも作っていききたい。

(金本委員)

一宮北中学校区の小中一貫の取組がすごく楽しみである。一宮北中学校区の取組として、小学校、中学校を別々の組織として位置づけるのか、例えば、「一宮北学園」とか「まほろば学園」といったかたちで、校長先生は1人として9年間通した教育課程をつくり、学校を運営していくことが出来るのか教えていただきたい。

(委員長)

一宮北中学校区では、思い切った発想により小中一貫教育に取り組んでいただきたい。例えば、校長が小中兼務し副校長を2人制度にするとか、学園長のような人が1人いて副校長を小中それぞれに配置し、さらに教頭を配置するなどいろいろ考えられ、小中一貫の取組として大いに夢が広がる取組ができるのではないだろうか。また、新聞報道等があった小野市へ行き、教育長の話聞くなどされてもいいと思う。

(教育長)

現時点では、小中それぞれの校長を配置しようとは思ってはいるが、今ご指摘の点も踏まえて検討していきたい。中学校の部活動に6年生が参加することも、案としては持っている。今回の小野市の報道も含め、今いただいた意見も参考に、早急に検討委員会なども立ち上げながら検討を行い、すばらしいスタートを切りたいと思っている。

(金本委員)

千種認定こども園、図書館の入札結果を受けて、入札の後の動きを教えてください。また、新施設での開園はいつから始まり、千種認定こども園としては、いつ開園するのか教えてください。もし4月1日を認定こども園の開園とするならば、施設が建設途中における開園ということでもあり、こども園に対する地域や保護者の思いなど、行政としてそれに応え、まとめてほしいと思っている。

(教育部長)

現在、こども園施設の入札不調の要因、今後の入札手法を検討している。入札不調からおおむね1ヶ月が経過しているが、3月31日の新施設の完成は非常に難しいと考えている。具体的には、27年度の1学期間程度(4,5,6,7月)の工期が必要だろうとは考えている。なるべく早いうちに、再度入札執行を行いつつ、新しい施設での供用開始の時期は、27年度2学期からという判断を近々にせざるを得ない状況にあると考えている。また、事務局としては、今後、県との協議も必要で

あるが、施設が現在の杉の子保育園、現在の千種幼稚園に分かれたとしても、できれば27年4月1日から、千種認定こども園としての開園が望ましいと考えている。そして、地域の思い、保護者の思いに添えていくことが、一番肝要なことだと認識しており、少し地域の方と話し合いを持つ機会が遅れてはいるが、近々にその機会を持ち、地域、保護者、保育園を含む現場の先生方との意見も集約する中で、一番望ましい姿を決めていきたいと思っている。

(金本委員)

こども園造成工事等の終了までの間、地域から聞いている意見がある。一つ目は、工事の進行予定が天候の都合等で延びる、いつごろ終わった等、予定や状況が変更となるのであれば、地元自治会長等にひと言、言ってもらえればと感じる。二つ目は、集会所側からの道路と川沿い市道との交差点で、車に巻き込まれそうになったと地元から聞いており、小さなミラー設置でも良いので、視距改良が可能かどうか検討いただきたい。三つ目は、千草商店街側から千種B&Gプールに行く進入路について、幅員拡張等の検討案があれば教えていただきたい。

請負業者の地元へのあいさつ等、こまめに行うことで解決することも多くあり、今後の工事においてはその対応指示もあわせてお願いしたい。

(教育部長)

県の河川の土砂撤去に係る工事期間が変更となり、地元への事前お知らせと変更があり、ご批判をいただいた経緯がある。造成工事において地元への説明会が少し遅れたとも感じており、今後、プール解体工事に際して、反省を活かし早めの地域への説明会を実施したいと思っている。また、集会所付近の市道交差点のミラー設置の件は、現場等確認させていただきたい。また、プールへの進入路は、既設フェンスを北側に移動し少し広くする予定である。また、工事にかかる指示はしっかり行っていく。

(こども未来課長)

8月27日に、教育委員会各委員並びに千種幼保一元化協議会各委員へ、認定こども園入札不調の件は文書でお知らせをした。事務局として今後の開園は、27年4月に別々の園所となるが、こども園として開園させていただきたいと思っている。新施設については26年10月以降の入札を予想するが、工期的には年度内完成は厳しいものがあり、新施設の利用は、27年度2学期からと考えている。また、開園にむけて県との協議もあるので、状況等が変われば報告させていただきたいと思っている。

(委員長)

こども園開園について、関係者、地域の方々の意見を聞きながら、丁寧に説明しながら進めていただきたい。

(田中委員)

「しーたんチャレンジ」事業計画における具体的な取組内容のひとつで、ラダートレーニング、バランスボールを準備運動に取り入れるとあるが、それは何か教えていただきたい。

(弓削委員)

バランスボールなど最新の道具を使ったトレーニングも良いが、かつての昔の遊びも、体全体を鍛えるのにも適していると思う。先日の神戸小学校、神戸幼稚園の学校訪問において、子ども

たちが竹馬遊びやフラフープ遊びなどもしていたが、昔遊びの多くは体全体に良い影響を与えるという新聞掲載等もあった。このチャレンジの中で、昔ながらの遊びであっても、良いものは取り入れることを前向きに検討いただきたいと思います。

(学校教育課長)

ラダートレーニングとは、縄ばしごのようなものを地面に敷き、太ももを上げて片足飛び、両足飛びしながら走ったりするもので、バランスボールとは、大きなゴムボールに座って、腹筋背筋の強化を通して体軸を鍛えるなど、道具を用いたトレーニングである。

(委員長)

「しーたんチャレンジ」事業計画において児童へ配布するしーたんバッジとは、どのようなものか、また、バッジ着用はどのようにしているか教えてほしい。

(学校教育課長)

バッジは、1.5cm 位の大きさをしており3種類のを準備している。一つは、プロモーション用バッジとして、全児童に配布して「しーたんチャレンジ」の取り組みについて意欲関心を高めていくためにある。その他、しーたんバッジ①として、第1回体力調査における全児童の約1.5%、各学年に5人か6人という想定であるが、上位記録の児童に対して、配布を予定している。しーたんバッジ②は、第1回調査後、大きく数値が伸びた児童に対して、配布を予定している。

バッジの着用は、かばん等に着用している場合もあるかもしれないが、バッジがピンによる取り付け仕様になっていることもあり、安全の面を考え、身体には着用はしていないと思っている。学校からも着用方法について意見をいただいております、今後はシール式なども検討していきたいと思っている。

(委員長)

しーたんバッジ①について、体力調査の結果、上位成績を理由に渡すというのは、ある意味で、学業成績の優秀者を賞するというのを、スポーツの面で同じようにしているということにならないか。慎重な議論が必要だと感じる。しーたんバッジ②について、児童の努力によって大きく数値が伸び、それを賞するというのは良いことだと思う。

(学校教育課長)

しーたんバッジ①の配布方法については、学校現場との協議の中でも意見をいただいております、今後の検証の中で、来年度にむけて検討していく内容だと思っている。

10 次回会議の招集について

平成26年10月28日(火)午前9時30分から、第6回宍粟市教育委員会を開催すると決定した。

11 閉会

金本委員が閉会した。

以上 10時27分終了